



目次

弥勒菩薩ラエルのお言葉

- 2 「今」という教え
- 3 もっと知性的になって、考えるのをやめましょう
- 5 愛の風が私の心の中に波を作る
- 6 自分自身と恋に落ちなくてはだめです
- 7 トルーマンよ、恥を知りなさい
- 8 カーマのセミナー参加者へ向けた弥勒菩薩のお言葉
- 11 2012年世界終末についてどう考えますか？
- 15 人類の名誉ガイド、ミコ・ベレド
- 15 イエスの風刺画について
- 15 ラエルは、南アフリカの、「占領地区」ラベルのアイデアを称賛します
- 16 ラエルはブラジルでの3人の結婚を称賛します
- 16 アノニマスへの支持
- 16 遺伝子組み換え運動選手なんてのもいいじゃないですか

世界のラエリアン

- 17 カーマのセミナー
- 18 平和のための一分間キャンペーン
- 20 その他の普及活動
- 22 楽園主義
- 22 メーランは、神への言及なしに忠誠を誓う



メキシコでの平和のための一分間瞑想キャンペーン

知性的であるとはどういうことでしょうか。

それは、つながっているということ。ラテン語で "intelligere" とは、つながっているという意味です。

考えている時は、つながっていません。

感じている時、ありのままにいる時、あなたは全ての物と、無限とつながっています。ですから、考えないということは、科学の逆ではないのです。

67aH年9月 ラエル

弥勒菩薩ラエルのお言葉

「今」という教え

10 月 28 日

エロヒムの教えの中で最も重要な 3 つの教えは何でしょう。彼らは過去について、人類の起源について教えていますし、未来について、そして私たちが科学を良いことに使った場合に可能なことを教えてくれています。

でもこれは 2 番目になります。

1 番は、「今」という教えです。

今とは何でしょう。

笑い、幸せでいて、この人生の毎秒を楽しむこと。

脈、心臓の鼓動とは何でしょう。

感じられますか。自分の鼓動を見つけてみましょう。

感じますか。そのまま感じてみましょう。

悲しい時、落ち込んでいる時、「なぜ自分は生きているんだろう」と自問する時、皆さんの心臓の鼓動を感じましょう。これは奇跡です。もし鼓動が止まれば、いつかは止まるものですが、皆さんは死にます。もう落ち込みむこともなく、幸せを感じることもなく、生きることもありません！

さあ、鼓動を感じましょう。

体の調子がおかしい時、気分があまり良くない時、鼓動を感じましょう。鼓動の一つひとつが奇跡です。それを感じて、一つひとつの鼓動を楽しみましょう。だってそれは、時限爆弾のようなものなのですから。

人の心臓の鼓動があと何回打つかを計算できる科学者がいます。お年寄りより少なく、若者はより多いでしょう。この時限爆弾を感じましょう。本当に数字が減っていったらですよ。カウントダウンです。

あと残り 10 秒かもしれません。誰にも分かりません。11 時の集会で、ラエリアンが一人死ぬことだってあり得るでしょう。死んだとしてもさほど重要ではありません。重要なのは、残りの 10 回の鼓動の間、幸せでいること。10 回しか残っていないからといって恐れないことです。

自分の残りの鼓動があと 10 回だと想像してみてください。パニックになりますか？それは愚かなことです。落ち込みますか？それも愚かです。過去のことを悔やみますか？それまでの人生を精一杯生きていなければ、そうなるでしょう。

もしエロヒムが私に、「あなたの残りの鼓動はあと 10 回です」と言ったら、私はどうするでしょう。

笑います。

鼓動一つひとつを楽しみましょう。毎秒を楽しみましょう。人生に感謝する最も良い方法は、笑い、微笑み、呼吸し、生き



ていることの美しさ、皆さんの周りに生きている人たちの美しさを感じることで。

生きていることを、エロヒムに感謝しましょう。人生の毎秒を、私はエロヒムに感謝しています。皆さんの愛、微笑み、皆さんの幸せに感謝します。自分自身のためだけに幸せしているではありません。皆さんが幸せな時、皆さんは他人に幸せを与えているのです。

自分自身のためだけに笑うではありません。皆さんが笑う時、それは他人への美しい贈り物となります。誰かが笑っているのを聞けば、私たちはより幸せを感じます。

私を幸せにしたいですか？笑いましょう！

美しい一日を。

もっと知性的になって、考えるのをやめましょう

9月9日

私たちは皆、花です。ハイビスカスは美しいですが、皆さんを見る時、もっと美しい花が見えます。皆さんは私の花です。皆さんの顔は、地球上のどの花よりも美しいです。

私たちは花のようなものです。酸素と水とミネラルを必要としています。ただ一つ違うのは、私たちは動くことができるということです。でも私たちは花なのです。

今朝は二つのことをお話したいと思います。エロヒムの教えです。

私はよくフェイスブックでエロヒムの教えの一部を投稿します。最近、週に一度の断食が健康のために大変良いということを知り、それを投稿しました。「それはメッセージのどこに書かれているのですか」とコメントをした人がいました。どこにも書かれていないかもしれません。重要なのは、セミナーに来ることです。私がセミナーで教えることは、メッセージに書かれていませんから。

だからこそ、ラエリアンはセミナーに来るべきなのです。本を読んだだけでは、それも良いですが、セミナーに来れば、追加の教えを受けられます。

35年以上、私は皆さんに言ってきました。「週に一度は断食しましょう」

今、科学者たちは、それが健康に良いことだと言っています。定期的にセミナーに参加することによって、ものすごく素晴らしい教えを受ける事ができます。だから、セミナーはとても重要なのです。

私が話したい2番目の事は、科学は美しい、知性は美しいと教えながら、一方で「考えてはいけない」と教えている、その矛盾についてです。

これら2つのことには全く矛盾はありません。同じことを言っています。

科学について考えること、私たちは脳を使って科学的問題を解決し、発見をし、人類の発展を助けます。それはそれです。でも、考えることは科学ではありません。

アルバート・アインシュタインは、人類史上最も有名な科学者の一人ですが、彼はこう言いました。「私が発見した最も重要な発見は、私の脳の理性的な部分を使わずになされました」

科学はどちらかと言うと、感じること、直感だということに気づくことがとても大切です。実験もそうですが、感じることと直感に従うことです。

幸せになりたいと思っても、科学は幸せをもたらしません。考え続ける過程を止めることだけが、皆さんを幸せにします。考えないことです。そうすれば、脳がより肯定的な状態になり、感情を受け取り、発見をすることができるようになります。重要な発見は、考えて、考えて、考え続ける人によってなされてはいません。違います！重要な発見は、突然のひらめきを持った人によってなされています。

これは、科学にも、美術にも、音楽にも、あらゆることに良いことです。

モーツァルトは考えていませんでした。ピカソも、ヴァンゴッホも考えていませんでした。何も考えていませんでしたが、やって来たのです。モーツァルトや全ての偉大な作曲家がそうでした。私はたくさんの偉大な芸術家を知っています。彼らがピアノの前に座っているだけで、音楽はやってきます。もしモーツァルトがピアノに向かって、考えていたら、音楽は一曲もできなかったでしょう。

考えることは悪いことです。考えると、創造性は破壊され、さらに大切な幸せをも破壊します。考えている時、幸せではありません。考えることを完全にやめて、ただありのままにいきましょう。全てが可能になります。もっと知性的になるでしょう。

知性的であるとはどういうことでしょう。

それは、つながっているということ。ラテン語で "intelligere" とは、つながっているという意味です。

考えている時は、つながっていません。

感じている時、ありのままにいる時、あなたは全ての物と、無限とつながっています。ですから、考えないということは、科学の逆ではないのです。それどころか、それは最高レベルの科学の根源であり、最高レベルの創造と芸術の根源なのです。

私は毎朝目覚める時、新しい音楽が頭に浮かびます。ここにいる偉大な音楽家の一人、ロータスも、毎朝目覚める時、新しい音楽が頭に浮かびます。彼女は、ピアノの前に座って「考えて、音楽を奏でよう」とは言いません。全く考えずに、ただありのままにしていると、音楽がやってくるのです。

愛についても同じです。愛は、今地球上で最も重要なものです。考えている時、愛はありません。感じている時、ありのままにいる時、愛を感じ、愛を与えています。

誰かに愛を示す最も美しい方法の一つは何でしょうか。

花をあげること。考えてみると、とてもばからしいですが、花をあげるのはとても美しいことです。

もっと簡単なことがあります。ハグすることです。それについて考えると、どうしてと考えると、



ハグをしなくなります。だから、自分が知性的だと思っている人たちは - 知性的ではないのですが - 、決してハグしません。彼らは考えていますから、地球に愛はありません。

でも、突然考えることをやめるなら、人々を見ると、皆にハグしたくなります。考えるのをやめるからそうなるのです。

ですから、どうか、もっと知性的になって、考えるのをやめましょう。

皆さん、美しい一日をお過ごしください。

愛の風が私の心の中に波を作る

9月2日

この日、弥勒菩薩ラエルは、彼の周りに集まった数十人のラエリアンと、海の中でテレパシー交信をしました。

水の中でのテレパシー交信はこれが初めてです。つまり、エロヒムとだけではなく、地球全体との交信になります。水に触れる時、私たちは地球全体とつながっています。世界中、すべての海がつながっています。

これはアメリカにも、世界中にもつながっています。この水によって私たちはつながります。それはとても良い気持ちです。地球全体と一体です。エロヒムとも一体です。世界中のラエリアンとも一体です。この一体であることの喜びを感じましょう。

エロヒム、私たちが一緒にいられることを感謝します。あなたたちのメッセージがなければ、私たちはお互い知り合うことはなかったでしょう。違う都市にいて、違う国にいたことでしょう。でも、私たちは今ここに一緒にいます。エロヒムのおかげで。

エロヒム、ありがとうございます。私たちの人生に光をもたらしてくださり、一体になるというこの素晴らしい教えと喜びをもたらしてくださり、私たちの人生を導いてくださって。

手をとって、私たちの愛を、この地球に生きるすべてのものに送りましょう。海のすべての魚、すべての生き物、イルカ、鯨、人魚、すべての木、鳥、マンダース、馬、すべての生きる物、すべての人間に。

そして、天空のあらゆる存在に。エロヒムにも、エロヒム以外の存在にも。私たちは海の中にいますが、宇宙もまた海です。私たちは宇宙の中を飛んでいます。地球という大きな船に乗って。私たちの下にある水の海と、上にある無限の海を感じましょう。

エロヒムの愛を感じましょう。彼らは皆さんとつながっていて、愛を送ってくれていますから。ここにいるあなたの周囲にいるラエリアンの愛を感じましょう。自分自身への愛も感じましょう。

私たちは愛の海の中にいます。波が私たちの体を優しく揺らすように、愛の波を感じましょう。愛の風。愛の風があなたの心の中で波を作ります。愛の波が私の心に波を作ります。それを感じましょう。一日中感じ続けましょう。一週間ずっと、一ヶ月ずっと、生きてる間ずっと感じ続けましょう。

エロヒムありがとうございます。

自分自身と恋に落ちなくてはだめです

8月12日

私たちは、愛について十分話したことが無いと思います。愛すること、愛をあらゆる場所に広めることは、なんて重要なことでしょうか。私たちがいつも覚えておかなければならないのは、まずは自分自身を愛することです。だって、私たちが愛について考える時、たいてい恋人を持つこと、ボーイフレンドやガールフレンドを持つことを考えます。これは何かを期待しているということです。

普通、誰かを愛する時、その人から何かを期待します。もし、恋人やパートナーがいなければ、寂しく感じます。それは、本当の愛ではないからそう感じるのです。もし自分自身を十分に愛すれば、誰も必要としません。誰かを愛することはできますが、その愛は、自分自身に与える愛と同等にしてはなりません。他の人のほうが皆さん自身よりも皆さんのことを愛するのは、良くありません。皆さんは、自分の夢の恋人や、弥勒菩薩や、エロヒムを愛するよりもっと自分自身を愛する必要があります。そうしてから、他の人を愛しても良いです。

自分自身と本当に恋に落ちなくてはだめです。例えば、皆さんの愛する人を家に招く時、おいしい食べ物を用意して、食卓をロウソクや花で美しく飾ります。

でも皆さんが一人の時は、カップラーメンの蓋を開けるだけです。それは良くないです。皆さんの家で皆さんの一番大切な人をもてなすように、皆さん自身をもてなしましょう。自分のために、テーブルを美しく飾りましょう。皆さんにはそれだけのことをする価値があるのです。自分のためにロウソクや花を飾り、自分のためだけにおいしい物を作りましょう。それが愛です。

自分自身を愛さなければ、幸せにはなれません。毎回の食事が、自分自身への愛のお祝いとなるべきです。これは幸せの基本です。他の人のためにはするのになぜ自分のためにはしないのですか。「自分ひとりだから、カップラーメンを食べよう」と言うのは、自分自身にウンチを置くようなものです。ですから、他の誰よりも自分自身をよくもてなすべきなのです。そうすれば、皆さんの中で美しい愛の花が育ち始めます。

皆さんの愛のつぼが一杯にならない限り、他の人に与えることはできません。

皆さんの意識が、皆さんの中に愛を入れます。つぼの中に水を加えるようなものです。つぼが一杯になれば、溢れ出ます。それが他人に与えるべき愛です。皆さんのつぼが一杯でない限りは、他の人に与えることはできません。だって、自分への愛が十分ではないのですから。ですから、他の人に与える前に、自分自身のつぼを一杯にしましょう。

自分を十分に愛していない人が他人に愛を与える時、それは乾いた愛になります。ドライフラワーのようなものです。でも、自分自身を十分に愛で満たせば、他人に与える愛は、生きた花のようになります。皆さんのつぼの中の花や水は、この愛の木に美しい花をいっぱい咲かせ、周りのすべての人の頭の上に落ちるのです。愛の雨のように。

日本では、桜の花びらが落ちるのが好まれますね。桜吹雪。桜が桜吹雪を出せるのは、その木が十分に水を得て、多くの花びらに水を与えるからです。桜にたくさんの花が咲くのは、桜自身が愛で満ちているからです。すべての木や動物は自分自身を愛しています。だから、木はとても重要なのです。

だから、仏陀が光を得た時、彼は木の下にいたのです。

この美しい木は自分自身を愛しています。風は木の葉に吹き、太陽は頭上で輝いています。木は地下から水を吸います。木には感情があります。皆さんと同じです。木は今、皆さんのことを感じることができます。木は自分自身を愛しています。だからこそ、とても長い間、とても美しく育っていきます。100年以上も。自分を愛しているから大きくなっていくのです。枝を広げ、根をどこまでも伸ばしていきます。皆さんも同じです。

皆さん全員、自分自身を大きな美しい木だと思ふ必要があります。そして自分自身を愛し、周りのすべての人に桜吹雪を送ることができます。それが愛です。



小さなことから始めていくということ覚えていてください。自分の夕食のためにテーブルを美しく飾る。自分の部屋を美しくする。他人のためではなく、自分だけのために。髪を美しく整え、美しい服を着る。他人のためではなく、自分が気分良くするために。鏡で自分を見て、自分という美しい花を見るのです。

さあどうか、自分自身を愛してください。自分自身を愛する時、それはエロヒムを愛することになります。エロヒムは彼らの姿に似せて私たちを創られたのですから。

多くの人が私に言います。「エロヒムに会えたらいいな」

私は言います。「鏡を見てごらん下さい！」

U F Oを見る必要もありません。特別な場所に行く必要もありません。鏡を見てください。自分の姿を見れば、エロヒムの姿が見えます。

エロヒムを愛するスタート地点は、まず自分自身を愛することです。

私は皆さんを愛しています。でも、自分への愛よりは弱いです。皆さんが、私を愛するより、エロヒムを愛するより、他の誰かを愛するよりも、皆さん自身を愛してほしいです。自分を愛すれば、皆さんは良くなります。自然に、他のすべての人への愛で満ちていきます。

ですから、どうか、自分を愛してください。皆さんはエロヒムの寺院です。皆さんの体全体が、エロヒムの寺院なのです。

トルーマンよ、恥を知りなさい

8月5日

私たちはまもなくラエリアンの新年を祝おうとしています。広島の大虐殺から67年が経ちます。ハリー・トルーマンは人類に対する史上最悪の犯罪者です。彼は明らかに市民を対象として日本の2つの都市に爆弾を落とす命令を下しました。

彼は戦争のルールを破ってそれを行い、彼の命令で老人子どもを含む30万人の罪のない市民を一瞬で殺しました。アドルフ・ヒトラーでさえ、2つの爆弾でそれほどの大勢の市民を殺しはしませんでした。広島と長崎に原爆を落とす命令をして戦争を早めに終わらせ命を救ったと主張することは、その犯罪をさらにひどいものにしていきます。それはまるで、軍人の命を救うためには、罪のない市民の命を犠牲にしても良いと言っているようなものです。もし逆に、日本軍が戦争を早く終わらせるために、

ニューヨークとロサンゼルスに原爆を落としていたら、アメリカ人はそれは良いことだと思うのでしょうか。世界中の平和を愛する人に、各国にある全ての核兵器を廃止させる力になって欲しいです。まずは、市民を標的に核兵器を使用した唯一の国アメリカから始めたいです。そのようなひどい行為について謝罪をしていないトルーマンの子孫は恥を知りなさい。

カーマのセミナー参加者へ向けた弥勒菩薩のお言葉



皆さんこんにちは。

カーマのセミナーが終わる前に、皆さんにお話できることをとてもうれしく思います。

カーマ、オーッ！

素晴らしいセミナーを過ごせましたか。きっとそうだと思います。皆さんのところにいる講演者たちは、最も素晴らしい人たちに数えられますから。私からも少しだけお話させてください。

カーマはこれまで以上に、人類の未来となっています。皆さんのところにいる講演者たちは、最も素晴らしい人たちに数えられますから。私からも少しだけお話させてください。

カーマはこれまで以上に、人類の未来となっています。皆さんは、これまで以上にこの惑星の光と真実のメッセンジャーになる必要があります。この惑星は新しい価値観を大変必要としています。

皆さんがメッセージと共に広めている価値観は、精神的で科学的というだけではありません。それらは、人類を救うために大変重要な価値観でもあるのです。ラエリアンの使命は、人類を救うことにほかなりません。なぜなら、世界中のあらゆるものが、現在自己破壊に向かっているのですから。人類を救う唯一のメッセージは私たちのメッセージです。キリスト教のメッセージではありません。それは、たくさんの危害と問題を地球上にもたらすことで、逆のことをしてきましたから。植民地政策や、今はもう政治的ではないものでもいまだに皆さんが背負っている重荷とか。それは姿を変えた形で、経済的文化的にいまだに存在しています。文化的、宗教的なものがより大きいです。ですから、人類を救うことができるのは、キリスト教でも、イスラム教でも、過去に存在したどの偉大な宗教でもありません。人類を救えるのは、ラエリアンのメッセージただ一つです。

ラエリアンのメッセージは何と言っているでしょう。

何よりもまず、「エロヒムはすべての人種を平等に創造した」と言うことで、すべての人種を平等な立場に立たせています。皆が平等なのですから、一つの人種が他の人種よりも秀でているということはありません。これが基本です。私たちは、初めにアダムとイブがいたと言わずに、初めにすべての人種が創造されたと言っている、この並外れたメッセージをもたらす、唯一の哲学であり、無神論の宗教 - これが重要 - なのです。このメッセージが非常に重要なのは、奴隷制度、植民地政策、または、ある人種が他の人種を支配するということを阻止するからなのです。

もう一つの重要な点は、私たちの哲学の中に埋め込まれ、絶対的非暴力と同等の価値観と関係しています。カーマでは、他のどこよりも、非暴力がどれほど重要なことかを皆さん知っています。キリスト教以前に存在していた皆さんの元々の宗教に立ち返ればそれが分かります。当時、暴力は存在しませんでした。もちろん、時には異なる民族間で衝突はありましたが、この衝突は戦争ではありませんでした。普通、賢者たちによって解決されるような衝突でした。当時、神は存在しませんでした。これこそ、

カーマの根源から再び獲得する必要のあることです。残念なことに、これらの過去の伝統の多くは失われ、傷つけられ、ゆがめられてきました。これらアフリカの元来の宗教は、エロヒムに非常に近い物です。それらは何について話していたでしょう。

精霊について話していました。これこそ復活させる必要のあることです。木の精霊、森の精霊・・・。

精霊は、現在エコロジストが見つめようとしていることです。つまり、植物は生きていて、意識の一部を持っているのです。動物も意識の一部を持っています。私たちの原始的な祖先たちはそれを「霊」と呼んでいました。実際、アフリカの元来の伝統では神は存在せず、優れた存在もいませんでした。その代わりに、自然とのコミュニケーションがありました。それは現在エコロジストたちが取り戻そうとしているものです。

ガイアへの回帰が見られます。白い入植者たちは、生態学的回り道の中で、ようやく自分たちの価値観、植民地主義、全知全能の神の失敗を認めたのです。惑星を破綻させてしまうだろうという完全な失敗です。でも、生態学によって、彼らは北アメリカでもどこでもすべての人々のもともとの伝統に非常に近い物に回帰しています。アフリカなどの先住民は、木の精霊や動物の精霊、偉大なる精霊と通じる方法を知っていました。実際、北アメリカのもともとの伝統は、地球や、この小さな惑星の生命に基づく価値観です。北アメリカの先住民そして世界中のすべての先住民は、そのことに関して手厳しくなって当然です。彼らが体験してきたことのためだけではなく、「アメリンディアン」と呼ばれたことのためにも。彼らの本当の名前は、少なくとも本当の先住民にとっては、「アニシナーベク」で、それは「最初の国の人々」を意味します。

この「インディアン」とは何者でしょう。これもまた白人の愚かさを証明しています。だって現在私たちは、この先住民たちはインドから来たのではないと知っているのに、彼らはいまだに北アメリカ大陸に元々住んでいた人たちのことを「アメリンディアン」と呼んでいるのですから！でも、入植者たちは、そこをインドだと思っていたので、その先住民たちを「インディアン」と呼んだのです。彼らはインド人ではありません。

私は一度、北アメリカの先住民たちの大酋長に会ったことがあります。彼は私にこう尋ねました。

「アメリカの先住民たちは、どうしたら自分たちの尊厳を取り戻す事ができますか」

彼らもアフリカの人たち同様ひどく苦しみました。私はこう答えました。

「まず、『インディアン』という言葉を使うのをやめてください。あなたたちは『インド人』ではありません。白人がやってくる以前、この広大な大陸に住んでいた人たちに与えられた名前は何でしたか」

「アニシナーベクです」と大酋長は答えました。私は彼に、「アニシナーベク」を使い、白人に彼らのことを「インディアン」ではなく、「アニシナーベク」と呼ぶように求めるよう言いました。

あなたがインドにいるならいいですが、あなたはインドではなくアメリカにいます。「アメリカ」という言葉もふさわしくありません。「アフリカ」もふさわしくないのと同じです。実際、「アメリカ」という言葉はどこから来たのでしょうか。アメリカを発見した、アメリゴ・ヴェスプッチというイタリア人の名前からとられたものです。だから「アメリカ」と呼ばれているのです。実際彼が発見したわけではありません。彼らが到着する以前から、その大陸は存在していたのですから。ちょうどアフリカが、最初の探検家が上陸する前から存在していたように。ですから、彼らは何も生み出していません。私は大酋長に、逆の立場だったらどうでしょうと尋ねました。もしアニシナーベクがここにやってきて、白人に名前を押し付けたとしたら。全く容認されないことでしょうか。ではなぜ現在の状況が受け入れられているのですか。なぜ二重基準があるのですか。だからこそ、精神的、文化的、非植民地化の過程の第一段階として、「アフリカ」という名前を排除することが重要なのです。

私は、偉大なるアフリカの賢明な男性と女性に、まだ白人に汚染されていない種族を見つけ、彼らのところへ行き、痕跡を探すことを求めます。痕跡はそこにあります。もう一度皆さんに言いますが、過去の宗教はすべて、無神論でした。北アメリカの宗教が最初そうだったように。それらは皆、霊について話していました。でもそれは他の物です。霊とは何でしょう。それは、DNAです！

DNAこそが、植物や動物に意識の一部を持たせているのです。私たちは今実験室で発見しつつあります。もし植物に愛を与え、

話しかけ、音楽を奏でれば、植物はより大きく育ち、より速く成長し、より多くの花を咲かせます！それは何を意味するでしょう。それは、私たちは植物や動物とテレパシーで通じ合うことができるということです。過去に、アフリカ、カーマでは、食料を獲得する時期以外は、必要以上に動物は殺されていませんでした。

そこに白人という入植者がやって来て、象牙質の牙を手に入れるために象を殺し、工芸品や飾りにしました。アフリカの人々は過去にこのようなことを決してしなかったでしょう。食べる分だけ殺し、無駄な殺しはしませんでした。これもまた、生態学者や現代的配給経済に賛成している人たちが信じていることです。つまり、実際に必要なこと以上のことはしないこと。多くの人が現在認めているように、地球には世界全体を養うだけの資源が十分あります。でも、強欲な西欧の資本家たちを満足させるほど十分にはありません。彼らは生きるために必要な物は欲しがらず、他人を踏み潰し、他人を犠牲にして自分を富ませ、他人を犠牲にして億万長者になるために必要な物を欲しがります。アメリカはゆっくりと後進国になってきており、それは素晴らしいことです！なぜなら、現在ホームレスはアメリカよりもアフリカのほうが少ないのですから。そのことを意識してください。それを口に出すことを恐れないうでください！これこそ、資本主義と植民地主義の失敗の証です。

ですから、すべてのカーマ人に、この希望のメッセージを意識して欲しいのです。そのメッセージは、皆さんがこれまでに読んできたすべてのことよりもはるかに進んでいる物です。それは明日の世界であり、唯一実現可能な世界です。なぜなら、明日の世界はラエリアンの世界か、そうでないかのどちらかです。それしか解決策はありません。

最近、フェイスブックの投稿で見たのですが、そこには信者数における世界の宗教の順位が載っていました。キリスト教が1位で20億人、イスラム教が2位で15億人、無神論者が3位でした。私はそれにコメントしました。「でも待ってください！イスラム教は何を信じていますか。彼らは神を信じていません。エロヒムを信じています。つまり、イスラム教徒も無神論者です！それに、ラエリアンは無神論者であり、世界にはさらに多くの無神論者がいます、つまり、ラエリアンが1位です！」

エロヒムが戻ってくる時、過去の偉大な預言者たちを連れてきます。イエス、モハメッド、そしてカーマのすべての預言者（何人かいます！）、その時突然、皆が改宗しがります。自分の利益を失いたくない人たち、例えばヴァチカンなどは当然そうしませんが、それ以外の人たちは私たちと一緒にになりたいと思うでしょう。私たちが多数派です！既に世界には15億人の無神論者がいると言うのを、恥ずかしがることはありません。エロヒムがやってくれば、さらに強くなるでしょう。

最後に、皆さんの多くがエロヒムに会いたいと思っていることでしょう。私と同じこの願いを持っている皆さんに言います。いつもも言っていることですが、「エロヒムに会いたいなら、鏡で自分の姿を見ましょう。皆さんはエロヒムの姿に似せて作られました。皆さんは美しく、知性的で、エロヒムのように素晴らしいです。エロヒムに会いたければ、自分自身を見て、自分自身を愛し、瞑想しましょう。そして一番重要なのは、今を生きることです。私は今でも、皆さんの愛する大陸ガイドのタイが、私に初めて会いに来た学生の頃の姿を思い出すことができます。現在彼は年をとり始めています。人生が過ぎるのはとても速いです。

皆さんが今年受け取った教えの中で、最も美しい部分を強調したいと思います。今とは何でしょうか。今とは、瞬間を生きることによって過去に変換される未来のことです。皆さんは、燃えるロウソクにちょっと似ています。燃えるロウソクとは何でしょうか。炎が今です。煙は過去でもう存在しないもの。そして炎の下にあるロウのまだ燃えていない部分が皆さんの未来であり、一人ひとり長さが違います。この未来については考えないでください。もうなくなってしまった煙についても考えないでください。ただ、今という炎に意識を集中しましょう。この並外れた意識が皆さんを宇宙全体とつなげ、無限大と無限小、動物、植物とつなげるのです。

今を生きましょう。皆さんが幸せでありますように。

2012 年世界終末についてどう考えますか？

66aH5 月、雑誌 Sofilm によるインタビュー（Raeltv でも視聴可能）

過去 2000 年の間に世界の終末についての予言が 2000 ありました。

フェイスブックで、何人かが私に 2012 年に何が起こるかを尋ねました。

「12 の月があるでしょう」と

私は答えました。偉大なる予言でしょう？ではその後はどうなるのと彼らは尋ねました。私は、

「2013 年になるでしょう」と答えました。

2012 年には何の意味もありません。それは 2000 年をひどく恐れていたのと同じです。2000 年は世界の終末の年のはずでした。1000 年もひどく恐れられていました。過去 2000 年間に、2000 人の偽預言者がいました。彼らは皆、世界の終末を予言しました。

終末が一度は来るかもしれません。それは常にあり得ることです。それは人々の知性または、人々が示し続ける愚かさ次第です。でも世界の終わりにはなりません。人類の終わりはありません。

「地球を救おう」と人々が言うのには、ジョージ・カーリン同様、笑ってしまいます。私たちがいようがいまいが地球にはどうでもいいことです。人類が滅亡することはあります。地球は何百万年も存在してきましたから、私たちが消えてもぜんぜん大丈夫でしょう。そのほうが地球にとって良いかもしれません。

ですから、救うべきは人類のほうです。

人類滅亡はありますが、2012 年にはないと思います。核による大惨事さえなければです。それは常に起こります。でもそれがいつ起こるかは誰にもわかりません。

エロヒムがやってくればそれは変わるでしょうか

エロヒムは 2025 から 2035 の間にやってくる予定です。でも、その時に私たちがまだ生きているとは限りません。

暴力または非暴力的、核の大惨事によって、人類が自己破滅することも十分あり得ます。フクシマは既に地球をひどく汚染していますが、それについて誰も十分に語ってはいません。

これはたった一つの核施設です。ヨーロッパではチェルノブイリがありました。いまだに放射能を帯びたイノシシやモリウユが見つかります。

フクシマのほうがひどいです。日本には原子力発電所が 50 あります。フランスにもたくさんあります。何が起こるかわかりません。いろんな物が動いています。地軸は変化し、地震がたくさん起こっています。完全に安全な人などいません。フランスでも地震は起こります。何が起こるかわかりません。

でも私には軍部のほうが恐ろしいです。軍は二つの脅威を組み合わせることで原発を標的にする可能性が高いです。原子力発電所は理想的な標的です。もしある国の一つの原発を標的にすれば、その国全体が放射能で汚染されます。強力な爆弾は必要ありません。

軍の狂気こそ、私が最も恐れているものです。それについて世界の人々にもっと警告を発するべきです。頭上にぶら下がっているダモクレスの剣に気づいていないのですから。それは軍が持つ核兵器と軍が爆破させる可能性のある非暴力的核施設です。

フランスの原発にたった 10 個の爆弾を落とすだけで、フランスは消滅します。おそらくヨーロッパもなくなるでしょう。

フクシマの後、おそらく日本の人口の三割は避難することになるでしょう。でも誰もそのことについて話していません。白血病の症例数は急増しています。誰もそのことについて話していません。病院に勤務する人たちだけがフェイスブックやツイッターでそのことを話しています。

東京を避難させる計画があります。四千万人の日本人を避難させるのです。東京は放射能にひどく汚染されていますが、パニックを恐れているため公表されていません。

今後、何千、何万もの症例がでてきたら・・・それはあまり先の話ではありませんが、責任ある政治家たちは皆、人道に反する罪で訴えられるべきです。真の大量虐殺が行われていますから。

確実に何千何万人の死者が出ます。これは科学的事実に基づく予言です。

私は死刑に反対です。彼らは福島に住むという刑を宣告されるべきです。彼らが作り出したものを支援できるのですから。それは最高の刑だと思います。死刑ではなく、生きる刑を宣告されるのです。

エロヒムがやってきたら自由がもたらされるのでしょうか

人類が大きく進歩することになる解放的な出来事となるでしょう。

でも、エロヒムがやってくるためには、まずは大使館を建てる必要があります。人類が正しい方向に進む必要もあります。軍事化と世界の核化の道を進むかぎり、たとえ大使館が建ったとしてもエロヒムはやってきません。

でも私は楽観視しています。世界中で反乱の風が吹いていますから。米国ではオキュパイウォール街、フランスでもいろいろな事が動いています。人々は嫌気が指してきています。それは世界的な傾向です。精神的で宗教的現象であるインターネットのおかげです。無神論ですがそれでも宗教的です。

かつて人々は、世界の人とつながりを感じるために、教会や寺院に行っていました。今私たちはインターネットで地球上の人々とすぐにつながりを感じます。

これは非常に高度な精神的体験だと私は思います。人々は見えています。世界中で他の人が同じ理由で反抗し、同じ事に反対しているのを。

世界を導く価値観、というより価値観の無い物、つまり、権力、お金、一般化した利己主義。そういったものに、人々は嫌気がさしています。お金の無い世界についてますます考えるようになってきています。だから私は楽園主義を発表しました。一つの世界政府の元で、交換し、分かち合う社会です。

これが唯一の解決策です。

地球の反逆によって大変動が起こるのでしょうか

それは、人類の過ちに自然が反発するというガイアを信じる人々と同じです。私はまったく信じてません。人類にとって最大の危険は人類自身です。

地震は常に起こってきました。ポンペイのように、火山灰の中で化石となった人々は常にいました。私たちが今経験している大変動よりもずっと大きい大変動は過去にありました。ひどい凍結、

桁外れの津波。

私たちが現在経験している物を混合して、過去にないほどひどいと言っている人々がいます。

それは違います。フクシマの津波は大きかったです、過去最大ではありませんでした。異常な暑さや寒さになる、または地震が起こった時はいつも、歴史を振り返ってみればいいです。私たちは歴史的記録の中で生きるのが大好きなのは残念なことですが、1900年にはもっと大きなのがありましたし、1830年にはもっと大きなのがありました。すべてについて同じです。

ガイアを巡るこの扇情主義は間違っています。地球は私たちのことをなんとも思っていません。

私の大好きなジョージ・カーリンが言いました。地震は、犬がノミをふるい落とそうとしているようなものだ。ノミは落ちますが、地球は気にしません。私たちの事に気づいていません。気象的事象や地球的事象があっても、私たちは取るに足らない存在です。

これは新たな迷信、新たな神秘主義のようなものです。前は神による天罰と言われてました。幸いにも、神は以前ほど人気がありませんので、人々はガイアやエコロジーについて話します。何か超自然的なもので、自分たちが体験したあらゆる悲劇や、まもなく起こるとマスコミから信じ込まされる事象を説明しようとしします。マスコミは不幸を利用して大金を稼ぎます。今のほうが、過去のある時代より地震が多いというわけではありません。でも、過去の時代と比べては売れません。

現代は、天災が最もひどい時代というわけではありません。人々を怖がらせるほど新聞は売れます。人々に恐怖心が植え付けられたために、新たな神秘主義が広がってきています。地球や自然を新たな神として崇めさせようというものです。それは神ではなく、自然の出来事です。

私たちの文明は環境を形成しますから、環境に影響が及ぶのも当然です。私たちは太平洋を汚染しています。それは確実に状況を変えています。それは確かですが、神の怒りとは何の関係もありません。

太平洋に食べられる魚がいなくなり、つながっている他の海も同様になったとしても、海は気にしません。地球は意識を持っていません。私たちが魚を食べられなくなるのは困ります。

私たちが呼吸する物、飲む物は、私たちが作り出します。残念ながら、私たちはそれを飲み続け、吸い続けるわけです。

でもこれは神の天罰ではありません。私たちを取り囲む何か超自然的存在による罰でもありません。私が気に入らないのはこの点です。恐怖心を基にして、新しい神秘主義が広がるということは常にありました。自らの意識を使う代わりに、この人たちは恐怖心に基づいて物事を判断しています。

私がかつたメッセーは希望のメッセーです。人類は黄金時代を構築できると述べるメッセーです。私たちはこの地球を楽園に変えることができます。楽園主義がそれを助けるでしょう。

だから私はとても楽観的です。恐怖を基にした他の団体や新興宗教とは違います。私のメッセーは希望に基づいています。

世界革命、世界政府を通じて、—私たちは既にそのためのサイトを持っています—インターネット上の仮想政府です、そこですべての人が、ラエリアンやラエリアンでない人でも、仏教徒でも、無神論者でも誰でも、団結して政治家や権力者たちに伝えるのです。「もう十分だ」と。お金も、汚染も、もう要らない。何か別の物を築き上げることができる。これは希望に満ちていますが、売れません。

もし、良いニュースばかり載った新聞が、2012年の世界の終末の記事を載せた新聞の隣に置いてあれば、誰もが世界の終末のほうを買うでしょう。残念なことですが。私たちは、責任を取ることを人々に教える必要があります。恐怖に基づいた考えや価値体系を持たないように教える必要があります。これは大変な任務です。

すべてのメディアがそれとは反対のことをしています。本も映画もあらゆるメディアがそうです。

政治でも

長年権力を独占してきた二つの主要政党は同じことを言っています。すべて、恐怖心に基づいています。地球の軍事予算の半分はアメリカにあります。

中国が予算を 10% 増やすと、中国の予算はアメリカの予算の 10% で、人口は世界の 4 分の 1 ですが、中国が 10% 予算を増やすとそれはアメリカの軍事予算の 11% になります。アメリカ人は、それは大変危険だ、自分たちを守る必要があると言います。でも、アメリカが世界の軍事予算の半分を持っていることは、誰も言いません。

アメリカには私が大好きな候補者ロン・ポールがいます。彼は言います。

「私たちはやめなければいけない。軍事基地が 180 もある」

どうせアメリカにはもう資力がありません。アメリカの崩壊がやって来ます。

私はアジアが大好きです。アジアは世界の地政学的、財政的、文化的中心となるでしょう。幸いにも中国で。中国は日本とインドと同盟を結ぶでしょう。過去の問題があるので困難を伴いますが。

元植民地国を合わせると人類の半数になるでしょう。彼らが、自分たちが与えられたのと同じ苦しみを西欧諸国に与えないことを願いましょう。それは正当な報復でしょうが、彼らがアジア人の賢明さを持って次のように言うことを期待します。

「彼らは私たちの国を植民地化し、搾取し、苦しめたが、私たちは彼らを尊重しこの新たな第三世界を助けよう」

最近見たのですが、デトロイトで、寝室が 3 から 5 あるとても素晴らしい家が 500 から 2500 ドルで売られています。周囲には 5000 平方メートルの土地がある素晴らしい場所です。アビジャンではこの値段で家は買えません。ワガドゥーゲーでも買えません。ラエリアンがたくさんいるブルキナファソでは、2500 ドルで家は買えません。

つまり、アメリカは本当に第三世界になりつつあるということです。彼らは軍事に大金を費やしていますから。あらゆるところに軍事基地を置いています。でもある時点でお金はなくなります。そしてすべてが変わります。アジアが世界の新しい中心になることは有益なことだと私は思います。

アジアには西洋にはなかった賢明さがありますから。理由は分かりません。私が最も偉大だと考える老子や孔子、仏陀のような東洋の哲学者は、主にユダヤ・キリスト教に基づく西洋の哲学者とはかなり違います。その苦しみ、奴隷、ひどいものです。

私はこの変化に大きな期待をしています。とても良いと思います。突然、偉大なアジアの価値観が広まり、世界がキリスト教化ではなく仏教化されたら、それははるかに有益なことです。

人類の名誉ガイド、サルマン・カーン

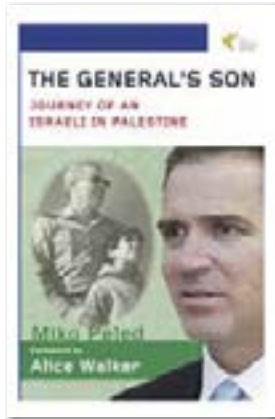
カーン・アカデミーを設立して、教育制度に革命をもたらし、皆に知識を提供したサルマン・カーンのように、利益よりも主義に重きを置く事で人類により良い道を示す、これはまさにラエリアンのガイドが行べきことです。

最近の MIT の学生たちへの演説で、サルマン・カーンは彼の人生の指針となっている主義についていくつか話しました。妄想的にポジティブでいて、細胞のすべて使って微笑むこと、エゴを捨てて調和を保つこと、人生の起伏を楽しむこと、ストレスのある時は、宇宙の無限と他の星を見ている他の惑星の生物について考えること、そして最後に、共感を通して作り上げること。



彼はまた、人々に人生について楽観し、世界の中でポジティブなことを増やすこと、世界的な幸福のネットワークを増やすこと、他人を力づけ、他人の正当性を立証すること、ポジティブの源になることを人々に勧めています。人類をより良い方向に導くために自らの人生を捧げている 7 万人以上いるラエリアン・ムーブメントのメンバーは、カーン名誉ガイドの素晴らしい未来を祈り、次の創造的業績を心待ちにしています

人類の名誉ガイド、ミコ・ペレド



「お互いを隔てている壁をぶち壊し、イスラエルのアパルトヘイトシステムを世俗的民主主義に変え、イスラエル人とパレスチナ人が同等の市民として暮らす」という目標のために人生を捧げているために、ペレドは名誉ガイドに任命されました。ペレドは彼のこのような考えを著書『將軍の息子 'The General's Son'』の中で伝えています。

ペレドはエルサレムのユダヤ主義者の家庭に生まれ、ペレドの父親はイスラエルの將軍であり、後に平和活動家になった人です。彼は今、父親の遺産を受け継ぎ、パレスチナとイスラエルとの単一国家の創設を提言しています。そこは、イスラエルがこの地域全体とその資源をユダヤ人が支配するという考えを断念する場合にだけ可能な聖域です。

イエスの風刺画について

ドイツのカッセル市にある風刺画博物館の窓に張られている風刺画が論議を呼び起こしています。十字架に張り付けにされて苦しんでいるイエスに、空から声がします。

「おい、お前。俺はお前の母親とセックスしたんだぞ」

何人かのキリスト教のリーダーがその風刺画に抗議して、取り外すように求めましたが、博物館の館長、マーティン・ソントグはあっさりと断りました。

ラエルは、博物館の館長を全面的に支持し、キリスト教のリーダーたちの反応は愚かなだけだと言いました。

「第一に、イエスという名前は風刺画のどこにも書かれていません。第二に、イエスがどのような外見をしているかは誰も知りません。これはモハメッドの風刺画にも言えます。第三に、十字架に張り付けられている人がイエスだとは限りません。イエスの時代には何千人もの人が十字架に張り付けにされたのですから。イエスの時代の前後にも、それは死刑の一般的な方法でした。最後に、当時の人たちは、十字架ではなく T の字に木を組んでいました。十字に組むのはずっと面倒でしたから」



ラエルは、南アフリカの、「占領地区」ラベルのアイデアを称賛します

国際法によると、何十万人ものイスラエル人が住む西岸地区は、違法となっています。

南アフリカ政府はこのほど、新しい法令を認可しました。それによると、イスラエルの入植地で作られた製品はすべてパレスチナ占領地区からの物であるというラベルを貼ることになります。

イスラエルの外務省はそのことについて、「あからさまな差別だ」と言いました。

ラエルは南アフリカ政府を称賛して言いました。「南アフリカは 100% 正しいです。世界の他の国も皆同じことをすべきです」

ラエルはブラジルでの3人の結婚を称賛します

ラエルは、3人の結婚を認めた、ブラジル、サンパウロ州の公証人を全面的に支持します。

ブラジルの報道によると、公証人のドミンゲスさんは、その男性と二人の女性は家族の権利を持つ資格があると言いました。2011年、ブラジルの最高裁判所は、安定した結び付きのあるゲイのカップルは異性同士の関係を持つ人たち同様の経済的社会的権利を与えられるべきと規程しました。

ラエルは言います。「人は、何人でも、どの性でも好きなように家族を作る自由を持つべきです」

ドミンゲスさんは、「家族」という概念は変化していると言って、自らの決定を正当化しました。それは、従来の宗教の教義を拒否するラエリアン哲学の立場と同じです。

ラエルはさらに言います。「原始的で時代遅れの宗教の宗教的タブーが、人々の私生活をあれこれ指示しようとしてはなり

アノニマスへの支持

ラエルは、アノニマスへの全面的支持を表明しました。

「世界革命だけが人類を救う事ができます。アノニマスは良いスタートを切っています。次のステップは、亡命世界政府の創設です。国連とは違う、真に民主的な世界政府です。国連はアメリカ合衆国の全体主義体制によって操られています。スイスのような人口の少ない国が、世界の人口のおよそ4分の1程の人口を持つ中国と同じ議決権を持っています。世界政府を選出する投票権は人口に比例しているべきです。拒否権を持つ安全保障理事会というのは実にばかばかしいものです。それは全くの超大国による支配です」

遺伝子組み換え運動選手なんてのもいいじゃないですか。



オリンピックでの、中国人水泳選手、葉詩文の驚くべき金メダルの泳ぎが、人々に新たな懸念を抱かせています。それは遺伝子改良です。

弥勒菩薩ラエルは、その話題について次のようにコメントしました。

「もしドーピングが健康に危険だと考えられたとしても、遺伝子改良は危険ではありません。ですから、禁じる理由は全くありません」

ラエルはさらに、これはスポーツだけに限らず、より知性的な人間を創ることに当てはまる、と言います。「私たち自身、エロヒムの遺伝子工学の結晶なのです」

現在人々が自分の体を美容のために整形している方法を考えると、同様の整形を遺伝子改良を使って試みることを禁じるのは実にバカらしいです。遺伝子導入はおそらく、より野蛮ではない、より安全な形でそのような整形を可能にすることでしょう。

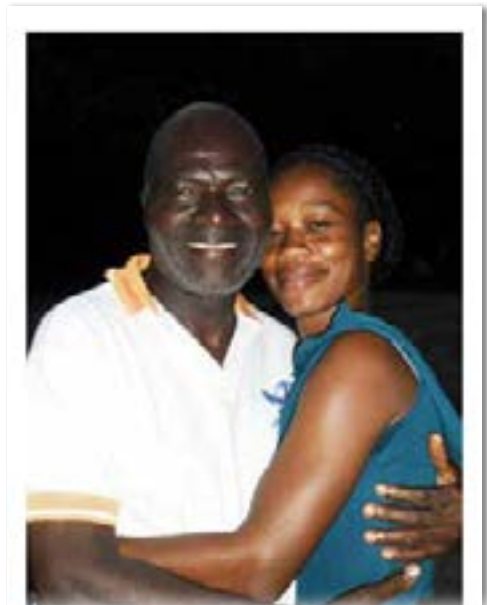
世界のラエリアン

カーマのセミナー

新しい3人のガイド：トーゴ Kwamivi Tsoekem Drah

トーゴ Danien Haikou

コートジボワール Dete Moussoukoro Kone



平和のための一分間キャンペーン



マイアミ



ラスベガス



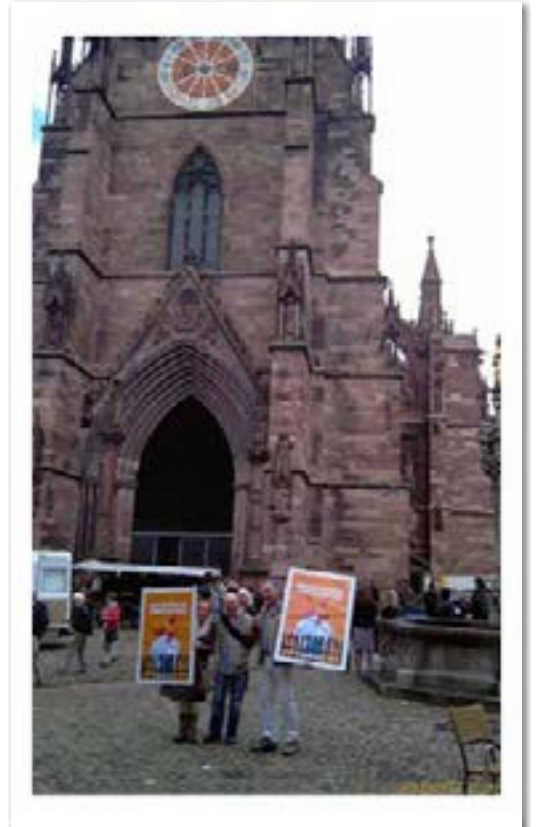
シカゴ



ジュネーブ



メキシコ



ドイツ、フランクフルト



フランス、リヨン



アイルランド、ダブリン



フランス、ロゼス



スロベニア、リュブリャナ



イタリア





オーストラリア、バイロンベイ

その他の普及活動



関西の講演会



九州の講演会



10月7日マレーシア



韓国、ソウル



ソウルでのブックフェスティバル



オーストリア、ウィーン
でのアラミス活動



光臨堂での集会



オーストラリア、ブリスベンで開催された
セクスポでのクリトレイド活動



ソウルでの集会

楽園主義



フランス、リヨン

メーランは、神への言及なしに忠誠を誓う

アメリカ合衆国では、ラエリアンのおかげで、空にはまんじが見られ、街では乳房が見られ、裁判官の事務所では神が存在しません！！

アメリカ合衆国の市民となったばかりのメーラン・サムは、普通よりも長く待たされました。なぜなら、彼は、神の言及を一切せず、国のために武器を保持することなしに忠誠を誓うことを要求したからです。

アメリカ合衆国の忠誠の誓いは、合衆国市民になることを希望するすべての移民が行わなければならないことです。

以下が、メーランが誓った内容です。一部彼のために削除された箇所がわかります。

「私は、これまでに私が市民であった場所の王子、権力者、国家への忠誠心を放棄し、アメリカ合衆国内外のすべての敵に対してアメリカ合衆国の憲法と法律を支持し、擁護し、」

(**削除**：法律が定めた場合、合衆国のために武器を持つ。法律が定めた場合、アメリカ合衆国軍の非戦闘員として働く。) 国家の大事の際、法律が定めた市民としての義務を果たし、この責務を、率直に、回避することなく受け取ることを誓います。

(**削除**：神よ、われに力を与えたまえ)。

